

ご挨拶

就任のご挨拶



有井 潤

大学院医系科学研究科 医学分野 ウイルス学 教授

出身地

広島県

研究内容

ウイルスの病態発現機構および細胞・種特異性の解明

趣味

散歩

好きな言葉

Seeing is believing

この度、2026年5月1日付で、大学院医系科学研究科ウイルス学の教授を拝命いたしました有井 潤と申します。私は2006年に東京大学農学部獣医学専修を卒業し、同大学院農学生命科学研究科獣医学課程において博士の学位を取得いたしました。その後、米国ユタ大学、東京大学医科学研究所、神戸大学大学院医学研究科を経て、本学に着任いたしました。

これまで私は、ウイルスという目に見えない微小な存在が、どのように細胞を乗っ取り、増殖し、病気を引き起こすのかに関心を持ち、その分子機構の解明に取り組んでまいりました。今後は、広島大学から世界をリードする研究を発信し、新たな抗ウイルス戦略の構築と、次世代のウイルス研究者の育成に尽力してまいります。皆様方のご指導とご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

就任のご挨拶



岩本 博志

大学院医系科学研究科 医学分野 分子内科学 教授

出身地

広島県

研究内容

難治性呼吸器疾患の病態解明、新規治療法の開発

趣味

ウォーキング、史跡巡り

好きな言葉

初心忘るべからず

2026年5月1日付で分子内科学の教授を拝命いたしました岩本博志と申します。私は1999年に九州大学医学部を卒業後、2001年に広島大学第二内科（呼吸器内科）に入局し、呼吸器内科医として診療・研究・教育に取り組んできました。大学院では喘息、慢性閉塞性肺疾患の吸入治療薬、ならびに全身病態との関連について研究を行い、現在も喘息をはじめとする閉塞性肺疾患の多施設共同研究を進めています。また、臨床においては呼吸器疾患全般を診療できる医師の育成を重視しており、私自身も間質性肺炎、肺癌や癌治療に伴う肺障害について、臨床・研究の両面から取り組んできました。引き続き、閉塞性肺疾患、間質性肺炎、肺癌を教室の重要な柱として位置づけ、広島大学のさらなる発展に貢献できるよう取り組んでまいります。今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。